

前向きに「環境問題を考える！」

－武田邦彦教授が環境・エコロジーに発言－

次のことは『偽善エコロジー』（武田邦彦著）からの抜粋です。皆さんどう考えますか？

レジ袋を使わない→ただのエゴ ペットボトルのリサイクル→よくない 食品トレイのリサイクル→よくない
ダイオキシンは有害だ→危なくない 生ゴミをたい肥にする→危ない
狂牛病は恐ろしい→危なくない 温暖化は日本だけのCO2削減努力で防げる→防げない「ストップ温暖化」は「ストップ台風」というのと同じこと

現在、これらの発言で社会に衝撃を与えている武田邦彦教授（中部大学）に講演をして頂きます。

主催 環境問題を考える佐倉の会

講演会

日時 3月15日(日) 午後1時半から4時（開場：午後1時）

（時間：講演90分＋質疑30分＝120分）

場所 佐倉市立美術館 4階ホール（約100席）（下図参照）

（京成佐倉駅から徒歩8分） 043-485-7851

講師 武田 邦彦

中部大学 総合工学研究所教授（写真右）

これまで環境問題などを研究し、著作は『環境問題はなぜウソがまかり通るのか』（洋泉社）、『リサイクル幻想』（文春新書）、『エコロジー幻想』（青春出版社）、『偽善エコロジー』（幻冬社）など。



講演内容

環境というのは、一つひとつのことを個別に考えてすむものではありません。「環境」そのものが総合的なものですから、環境によいことを何かするときには、その影響が全体としてどのようなものかを考えなければならないのは当然です。（『偽善エコロジー』20頁より）

主催 環境問題を考える佐倉の会

資料代 500円をお願いします。

（問合先）環境問題を考える佐倉の会 043-486-9398（担当：和田）

